

## ● Photo sketch ●



### 1/23 命をつなぐ大切な水

総合飲料メーカー「株式会社伊藤園」と、「災害時における飲料水等の供給協力に関する協定」を締結しました。同社東濃支店では、ペットボトル飲料など、約6千ケース(24本/1ケース)を保有しており、災害時にはこれらの提供を受けることができます。

市では、今後もいつ起こるか分からない大規模災害に備え、さまざまなかたちでの協定締結を目指し取り組んでいきます。



### 2/3 みんなで作って幸せ願う

曾木公民館で、節分に食べると縁起が良いとされる太巻き寿司の「恵方巻き」作りが行われました。地域のコミュニケーションを深める目的もあって今年で3回目の開催。今年の恵方は北北西です。

参加者らは、焼のりの上に酢飯を広げ、玉子やきゅうり、かんぴょうなどの7種の具材をたっぶりのせ、手際良くクルクルと巻きすに包んで転がしていました。作った恵方巻きは、各家庭に持ち帰り、幸せを願って家族で召し上がるとのことです。



### 2/7 教育目標の具現を目指して

市内の幼稚園・小中学校教職員が各教育現場で取り組んでいる研究実践を、論文としてまとめることで指導力の向上などにつなげている、教育実践論文の表彰式が土岐市役所で行われました。今年の応募は31点。そのうち入賞作品16点が表彰されました。

自身の論文を紹介してくれた先生は、「子どもが伸びていくために実践してきたことや書いたことが、教育現場で広がっていったらうれしい」と話してくれました。



### 2/17 演じて深まる 伝える 土岐津の魅力

土岐津小学校で、総合的な学習の発表として「土岐津っ子たんけんたいミュージカル」が保護者や地域の方に向け開催されました。

ミュージカルを演じたのは同校3年生児童115人。これまで土岐津町内を見学し、感じた魅力や発見を歌や劇で表現しました。披露されたオリジナル曲の歌詞には、高山城跡、穴弘法、高山城戦国合戦まつりなど、町内の名所やイベントなどが登場し、地元の魅力を元気いっぱい表現していました。



### 1/27 データからふるさとを知る

統計に慣れ親しみ、統計データから地域の現状を学ぶ「データ活用講座」が開かれ、駄知小学校6年の児童67人が受講しました。講義では県や市、駄知町の人口ピラミッドや、製造業に従事する人の割合、観光入込客数の推移など、県統計課の職員がグラフやクイズを交えながら分かりやすく解説。

受講した児童らは、「陶器のことは何となく知っていたけど、観光客が多いことや駄知のすごさなど新発見できた」とふるさとのデータに関心を寄せていました。



### 2/5 練習の成果を十分に発揮

日常生活や物づくりのために身に付けた技術を披露する生活技能コンクール「土岐市GINO CON」がセラトピア土岐で開催され、市内の小学3～6年生109人が参加しました。今回から「りんごの切り分け」や「サイコロの組み立て」などの4種目について、検定合格制度や、より合格基準の厳しいマイスター合格制度が導入されました。

また、チーム対抗で競う「豆つかみリレー」などのリレー種目も2種目行われ、応援席からは熱い声援が飛び交うなど盛り上がりを見せました。参加した児童らは、「しっかり練習してきた成果が出せて良かった」、「身に付けた技術や集中力を普段の生活に生かしていきたい」などと話してくれました。

